

令和2年度のはじまりにあたって

かこ いま いま みらい  
昨日よりも今日を 今日よりも明日を  
～ まえむき・ひたむき・さわやかな学校 ～



校長 末永勝明

令和2年の年明けから世界各地で流行し始めた新型コロナウイルスの感染は徐々に世界各国に拡大し、昨年度末には日本においても憂慮すべき事態になりました。ほぼ1ヶ月に渡る臨時休業の措置をとることになり、卒業式も規模を縮小して行うなど、学校の教育活動に深刻な影響を及ぼしました。そのような中、4月8日には、考えられる万全の拡大防止対策のもと、令和2年度の始業式、入学式を行うことができました。

現在、感染拡大防止の対応により、再び臨時休業の措置をとるなど、通常の教育活動はさまざまな面でその方法や内容が制限されていますが、何よりも子どもたちの安心、安全を最優先に考え、今できることに精一杯取り組んでいます。

ここ数年、「今は未来が予測困難な時代である」と言われるようになってきましたが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、残念ながらその一例であるとも言えます。誰がこのような世界的大惨事になると予想できたでしょうか。また、今後、人間の能力を超えるであろうとも言われる人工知能ならば、果たして予測ができたのでしょうか。

「昨日よりも今日を 今日よりも明日を ～ まえむき・ひたむき・さわやかな学校 ～」 昨年度から本校の学校教育目標です。

本校は山口大学教育学部の附属学校という性格から、中学校教育の先導的・実践的研究を進め、その成果を広く公表することをその使命の一つにしています。すべての教育活動において生徒の自主性を重んじ、自ら課題に向かい、その課題を解決しようと考え、判断し、実践できる生徒の育成をめざしています。また、平成29年度からは附属幼稚園、附属山口小学校とともに幼小中一貫教育に取り組み始め、三校園の総称を「やまぐち学園」とし、共通のめざす人間像に「よりよい未来を共に創り出す人間」を掲げました。

未来が予測困難な時代であるからこそ、その時その時の状況を正しく把握し、自ら考え、判断し、実践する力がこれから一層求められます。まさに、「今日」を、そして「明日」を、さらには「未来」をよりよく生きる力を身につけることが現代の子どもたちには求められているのです。

昨年度、やまぐち学園では学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてもスタートを切りました。保護者の皆様や地域の皆様のお力もお借りしながら、「すべては子どもたちのために」を合い言葉に、「よりよい未来を共に創り出す人間」の育成に誠心誠意努めてまいります。本年度も変わらず学校教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。